

## 「令和5年度 子育て支援ボランティア養成講座」を開催しました

「子育て支援ボランティア養成講座」を開催しました。この講座は平成25年から始まり、今年度で10回目の開催です。(途中、コロナでの中止があったため)

今年度は、最近各種メディアでもたびたび取り上げられている子どもの発達に関する内容、本市の重点施策の一つである本に親しむことに関する内容、そして小学校入学までを見通した幼児教育や子育て支援に関する内容を中心に計画し、19名の申込がありました。

各回の内容や様子は次のとおりです。

第1回 9/7(木) 13:00~15:00 アオウゼ(小活動室1) 参加者:18名

### ◆ 開講式

- ・ 主催者挨拶:生涯学習課長

### ◆ 講話「発達障がいの理解と支援」 福島市教育委員会教育研修課 相談員 栗城 智也 氏

#### 【主な内容】

- ・ 近年の特別支援教育の動向、インクルーシブ教育システムについて
- ・ 発達障がいの定義と分類、愛着障がいについて
- ・ 発達障がいの特性と子ども一人一人に対する支援や関わり方について



### ◆ 情報交換～子育て、子育て支援をテーマに～

- ・ 小人数グループで子育てや子育て支援に関する情報交換、フリートーキングを行いました。
- ・ 講師への質問や、講話の内容も関連付けた話し合いの様子が見られました。



第2回 9/14(木) 10:00~11:45 アオウゼ(小活動室1) 参加者:16名

◆ 講話等「本に親しむ～読み聞かせを中心に～」市立図書館 主任司書 鈴木奈央子 氏、森田 彩 氏

【主な内容】

- ・ 赤ちゃん絵本について
- ・ 読み聞かせについて(本の選び方、準備、本の持ち方、ページのめくり方、読み方等)
- ・ 手遊びの紹介とおはなし会、ブックトークの進め方について



◆ 演習(読み聞かせ等)

- ・ 講話をもとに、二人組で読み聞かせをし合ってみました。
- ・ 実際にやってみるとなかなか難しそうな様子も見られましたが、楽しそうに取り組んでいました。



第3回 9/19(火) 10:00~12:00 アオウゼ(視聴覚室) 参加者:10名

◆ 講話「幼児教育と小学校教育がつながるために」 福島市立笹谷幼稚園長 黒澤 雄二 氏

【主な内容】

- ・ 大切な乳幼児期の子どもたちの育ちについて
- ・ 今後の幼児教育と小学校教育のつながりについて
- ・ 幼児教育と小学校以降の教育がつながるために必要なことについて



◆ 「子育て応援団」活動紹介,手遊び・クラフト等 子育て応援団

- ・ 手遊びの紹介と折り紙を使ったクラフト(リボン、メッセージカード作り)を行いました。
- ・ 「子育て応援団」の活動について等の説明がありました。



◆ 閉講式

- ・ 今年度の講座の振り返りと今後の見通しについて確認をしました。
- ・ 受講アンケートの記入→主な結果は次のとおりです。

## 受講アンケート結果(概要)

1, 今回受講された内容についての評価をお聞かせください。 評価基準(+)4-3-2-1(-)

① 9/7	講話「発達障がいの理解と支援」	回答者平均	<u>3.8</u>
② 9/7	情報交換(発達障がい等を中心として)	//	<u>3.5</u>
③ 9/14	講話等「本に親しむ～読み聞かせを中心に～」	//	<u>3.9</u>
④ 9/14	演習(読み聞かせ等)	//	<u>3.5</u>
⑤ 9/19	講話「幼児教育と小学校教育がつながるために」	//	<u>3.9</u>
⑥ 9/19	「子育て応援団」の活動紹介、手遊び・クラフト等	//	<u>3.8</u>

2, あなたは、これからもこのような講座等があれば参加してみたいと思われませんか。

(思う) 4-3-2-1 (思わない) 回答者平均 3.8

3, あなたは、今後このような講座を開催する場合、どのような内容を希望、必要だと思われませんか。

- メディア、ネット依存にならないための子育て家族向けのアドバイスについて
- 今どきのSNS等、母親たちの子育て事情
- わらべ歌、手遊び
- 「本に親しむ」の第2弾、絵本の読み聞かせ等
- 子育て、教育に関する内容、食育、本に関すること
- 救命救急講習
- 幼児教育に関する話(「もりのようちえん」「モンテッソーリ教育」など)
- 手軽に出来る親子体操
- 児童虐待について(保護者等への支援や取り組み等)
- 教育現場の話(幼稚園、小学校等)
- 子育て支援センターの様子

4, 受講されての感想や講座内容、運営についての質問、ご意見等(主なもの)

- 「発達障がいの理解と支援」について、何度か話を伺う機会はありましたが、理解を深めるためには何度も話を聞く事が必要と感じました。貴重な学びの場をありがとうございました。
- 発達障がいについてよく耳にしておりましたが、現実にはどのような障がいなのか、またインクルーシブ教育システムについても理解できました。再度資料を見ながら勉強したいと思いました。



- 発達障がいとは私達社会が認知し、理解することは必要なことだけれど、常に子ども達と接している両親、祖父母達の発達障がいへの受容、教師の理解とその子どもに対する支援はもっと浸透するとよいと思いました。教師も親も相談できる専門カウンセラー等の配置など、喫緊の課題と感じました。
- 愛着（障がい）のことも、もっと聞いてみたいです。
- 本の紹介は大変参考になりました。
- 絵本を読み聞いたら絵本で大人も楽しいなあと改めて思いました。大人でも面白い、すごいと思うので、子どもにとってはもっと色々な感動を与えたいと思いました。絵本はやはり大切です。
- 読み聞かせでは、本の読み方についてとても参考になりました。また、わらべ歌はすぐにボランティア活動で実践出来そうでよかったです。
- 絵本の読み聞かせで、絵本を講師の方に読んでいただき、とても安らぎ、心がほっこりしました。子ども達にもこういう時間は必要だなと思いました。
- 「幼児教育と小学校教育のつながりについて」とてもよい話を聞けました。現実について理解出来ました。来年も再度講演を聞いてみたいと思いました。
- もっと学んでみたいと思える内容でした。経験はありませんが、いつか子育て支援ボランティアの活動（特に、読み聞かせ）をしてみたいと思いました。
- 養成講座に有効性があれば、受講証（証明書）を発行されると、今後生かされると思います。